

優れた技術・製品の開発に成果をあげ
京都産業の発展に貢献している
中小企業を紹介

京シリーズ の技

第51回



代表取締役
篠村 雅弘 氏

令和2年度「京都中小企業特別技術賞」を受賞された企業の概要、受賞の対象となった技術・製品について、代表者にお話を伺います。

篠春織物株式会社

丹後ちりめん特有の強撚糸技術と先染め糸を 組み合わせた「丹後先染め着尺・風通帯」を開発

丹後ちりめんの織元として ジャカード織の紋ちりめんを製造

当社は明治時代中期に創業して以来、丹後ちりめんの織元として、和装用の白生地を製造してきました。

ちりめんは、ほとんど撚りのない生糸を経糸に、強く撚った生糸を緯糸にし、それを交互に織り込むことで作られます。とりわけ丹後ちりめんは、緯糸に1mあたり約3,000回転もの強い撚りをかけた強撚糸を用いるのが特徴です。織り上がったら、生地を約100℃の精練液に約8時間浸け、セリシンという繊維同士を接着させる成分を取り除きます。この精練加工によって糸が収縮。緯糸の撚りが戻ろうとする力で生地の表面に凹凸状の美しい「シボ」が生まれ、ちりめん独特の風合いをつくり出します。

丹後ちりめんは、シワになりにくく、しなやかで肌触りが良い上に、染色した際の色合いも豊かで深みがあることから重宝され、全国にその名を知られてきました。当社は、丹後ちりめんの白生地の中でも主にジャカード織で模様を入れた「紋ちりめん」の製造を手がけてきました。

多彩な紋デザイン織物を生み出す開発力と技術力が当社の強み。丹後ちりめんも多くの伝統産業と同じく分業制で作られてきた歴史があります。織物の模様をデザインする図案家、図柄を基に織機で織るための型紙を作る紋工所など、丹後地域の職人と連携して数々の図柄の白生地を開発し、世に送り出してきました。着物産業の隆盛も追い風となって注文が増加。着物産業が最盛期を迎えた1970年代、ジャカード織機を増設して多くの需要に応え、事業を拡大しました。

従来の白生地製造に留まらず、新たな試みを考え始めたのは、約25年前から。人々の生活様式が和装から洋装へと変化するのに伴って、1970年代をピークに着物市場が縮小してき

たことがきっかけでした。白生地の需要に陰りが見える中で付加価値の高い製品を模索しました。その一つとして15年ほど前から取り組み始めたのが、「先染織物」の製造です。白い生糸を織って作る伝統的な丹後ちりめんの白生地とは異なり、あらかじめ染めた糸を使って織り上げるのが先染織物です。経糸と緯糸で異なる色の糸を使うことで、後染織物にはない色合いや表情を生み出すことができます。

さらにこの「先染め糸」に、強撚糸を使った丹後ちりめんの技法、とりわけ当社が強みとしているジャカード織の技術を組み合わせ、豊かな配色と紋織デザインを併せ持つ「丹後先染め着尺・風通帯」を開発。その技術力が評価され、京都中小企業特別技術賞を受賞しました。



先染めの強撚糸を使ってジャカード織で織り上げた風通帯(手前)

丹後ちりめん特有の強撚糸技術に 先染め糸を組み合わせ 丹後先染め着尺・風通帯を開発

通常の先染め織の場合、まず生糸を撚った後、精練・染色し、製織、湯通し・糊抜き工程を経て仕上げます。一方当社が開発

した「丹後先染め着尺・風通帯」の特徴は、一般的な先染め絹織物には使われない強撚糸を使うこと、そして伝統的な丹後ちりめんと同じく織った後に精練加工を施すことにあります。

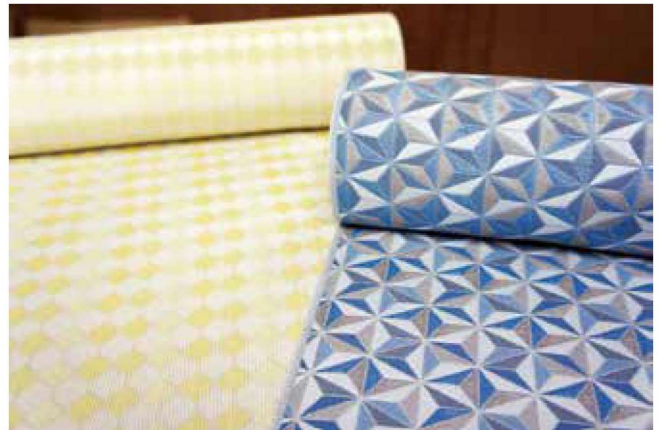
開発にあたっては、製造工程を一つひとつ検討しました。水をかけながら生糸をねじり、強い撚りをかける八丁撚糸(水撚り)工程では、何度も回転数や水量を変えて最適な強撚糸を検討し、1mあたり2,400回転の撚りの糸にたどり着きました。製織工程では、打ち込む密度を調整、また生地を精練工程でも、仕上がりの柔らかさを考えてセリシンの除去量をさまざまに変えるなど、数多くの試作を重ね、自在に風合いを変えられるノウハウを蓄積。試行錯誤の末に、従来の先染織物にはなかった、ちりめん特有の柔らかさや風合いを持つ新しい先染織物を完成させました。ドレープ性能試験でも、一般的な先染め織物よりも、しなやかであるとの結果を得ています。

さらにジャカード織の技術を活かして紋織デザインも自社で開発。独自の配色と紋織デザインが織りなす意匠性の高い製品を作ることに成功しました。

趣味性の高い着物の需要の増大に伴い 独自の意匠性が高い評価を獲得

これまでにない「丹後先染め着尺・風通帯」を開発したものの、当初、お客さまの反応はあまり芳しいものではありませんでした。先染織物が用いられる趣味性の高いカジュアルな着物の需要が少なかったのが主な原因でしたが、近年、多様なシーンで気軽に着物を楽しむ方々が増えてきたことから需要が一気に増大。これまで地道に製造を続け、ノウハウを培ってきたことが実を結び、多くのご評価をいただくようになりました。今回の受賞を通じて、こうした伝統産業の新しい取り組みを応援していただけることもありがたく思っています。

現在、着尺のデザインストックは5,000をはるかに超え、風通帯のデザインストックも2,000以上に上ります。また和装用の反物に加え、ストールなどの小物も開発しています。着物の



独自の色合い、紋デザインの意匠性の高い着尺

需要が減少する中であっても、付加価値の高い製品を開発することで、お客さまの支持を得ることはできる。そうした手ごたえとともに、将来への希望を感じています。

今後は、この技術やノウハウを次代に継承していくことが課題です。これからもお客さまのニーズに応えられるよう精一杯ものづくりに取り組んでいきたいと考えています。



「丹後先染め」のショール



「丹後先染め」のストール

Company Data

- 代表取締役 / 篠村 雅弘
- 所在地 / 京都府京丹後市網野町網野573-4
- 電話 / 0772-72-0216
- 創業 / 1965 (昭和40)年2月
- 事業内容 / 和装用小幡生地製造
- ホームページ / <http://shinoharu.net>



●お問い合わせ先 / (公財)京都産業21 市場開拓支援部 新市場支援グループ TEL:075-315-8677 E-mail: create@ki21.jp

一緒にうれしい
On Your Side

チームワークで
勝利を掴む!!

あなたの
創業・第二創業を
京都中債と日本公庫の
連携で強力に
サポート

当金庫ホームページにて商品概要およびチラシをご覧ください。
<https://www.chushin.co.jp/>

■お問い合わせ先

京都中央信用金庫 地域創生部 地域創生課 フリーダイヤル ☎0120-201-959 (平日9:00~17:00)

日本政策金融公庫 京都支店 国民生活事業 ☎075-211-3230 (平日9:00~17:00)

お申込みに際しましては当金庫および日本政策金融公庫にて所定の審査をさせていただきます。審査結果によってはご希望に添えない場合もございますのであらかじめご了承ください。

当金庫独自の「京都中債 創業スタートダッシュ」もお取り扱いしております。詳しくは京都中央信用金庫本支店までお問い合わせください。

JFC 日本政策金融公庫 協調融資

スタートダッシュ・ツイン

🏦 京都中央信用金庫 JFC 日本政策金融公庫 国民生活事業

📌 合計3,000万円以内

📌 運転資金 / 7年以内
設備資金 / 10年以内 + 所定の期間

📌 所定の利率(変動金利型) 所定の利率(固定金利型)

■または下記へお問い合わせください

京都中央信用金庫 当金庫本支店およびFAXフリーダイヤル ☎0120-201-580 (24時間受付)

日本政策金融公庫 西陣支店 ☎075-462-5121 大津支店 ☎077-524-1656

国民生活事業 守口支店 ☎06-6993-6121 吹田支店 ☎06-6319-2061

奈良支店 ☎0742-36-6700

金利情報・返済額の試算等 詳しくは窓口まで

京都中央信用金庫

2021年2月1日現在